



# まちをつくらう!



## 導 入 ねらい：社会の仕組みについて考えたり、想像していく力

- スタッフの自己紹介など。
- ダンボール箱を例に社会の物流に関わるお仕事の話をしします。
- 町の仕組みや仕事について考えてもらいます。

ここでは、日頃使っている身近な物も、自分達の手に届くまでに、たくさんの「仕事」を経てやってきていることを、ダンボール箱を例に解き明かしていきます。

物流という切り口から、たくさんの働く人や機械、会社がつながり、お互いが支えあいながら社会全体が成り立っているという事を伝え、自分達の住む町や、身近な仕事への興味や関心をもってもらう時間にします。

## グ ル ー プ ワ ー ク ねらい：チームで考え、目標を決め、それに向かっていく力

- チームに分かれます。(6~7人程度)
- 導入での「まちの仕組み」を踏まえて、チームで自分達の町を作ってもらいます。  
どんな町にするかを話し合い、決まったところから作業を開始します。
- スタッフは、構造や作り方のサポートをしします。

ここでは、導入で知り得た町の仕組みをふまえ、実際に自分達で町を作る体験をします。  
「土地」に見立てたダンボールを使用し、それぞれの役割分担の中で、その上にお店や工場などを作っていきます。  
自分のなりたい職業やあこがれの職業、あると便利だと思うお仕事を自由に発想して作ってもらいます。

## 振 り 返 り ねらい：作ったものを発表する力、全体のつながりや大局を理解する力

- できた町を全部集め、大きな町にします。
- チームごとにそれぞれの町について発表してもらいます。
- 全体の感想とまとめをして終わります。

製作したものをお互いに見ることで、楽しみながら振り返りをしていきます。

たくさん集まった町を見渡す事で、様々な仕事があることを実感してもらい、仕事と仕事がどう繋がっているのかを考えてもらいながら、導入の内容と、手を動かしてしてきたことを整理する時間にします。